

令和2年度 市民と市長の対話集会 市長と語ろう！ほっとミーティング

開催結果報告書

- 1 開催日時 令和2年（2020年）11月26日（木）
午後2時から午後4時まで
- 2 開催場所 市役所本館302会議室
- 3 参加者 平塚市自治会連絡協議会 連合自治会長8人
- 4 テーマ ウィズコロナ時代の地域活動とは
～持続可能な地域運営について～



ほっとミーティングの様子

5 市長あいさつ

皆さん、こんにちは。平塚市長の落合克宏です。本日はお忙しい中、「市長と語ろう！ほっとミーティング」に御参加いただきありがとうございます。新型コロナウイルスによって、地域活動や、人との触れ合いが危機に瀕しているのではないかと不安に感じています。連合自治会長から地域の現状や課題について御意見を聞かせていただきたいと企画しました。

この「市長と語ろう！ほっとミーティング」では、市長に就任した1期目は東日本大震災が発生した直後だったこともあり、安心安全をテーマとした対話集会を行いました。その後は各地域に直接伺い、地域の抱える課題も踏まえながら、特徴をいかしたまちづくりについて対話させていただきました。新型コロナウイルス感染症への対策としては、市でも経済・社会活動への支援などを行っていますが、それだけでは平塚というまちは立ち行かなくなるのではないかと考え、平自連の4ブロックごとに連合会長にお集まりいただき、本日が3回目の開催です。

これまでの平塚の発生状況ですが、クラスターも少なく、重症者数も多くない状況です。神奈川県内での本市の罹患率は低い方に位置しています。これは市民の皆さん、事業所・施設の皆さんの安全対策のおかげであると考えています。改めて感謝申し上げます。

現在は第3波襲来と言われていますが、地域活動や、人と人とのつながりを活発にしていくための取組ができないか、皆さんからぜひ率直な御意見をいただきたいと思います。本日はどうぞよろしくお願いします。

6 主なミーティングの内容

【司会】

まず初めにコロナ禍における各地域の現状などお聞かせください。

【参加者】

防災訓練では参集訓練を中心に行い、人が密集するような訓練は見送りしました。よくコロナで行事等が中止・縮小しているので自治会予算が余るのではないかとされますが、これまで先送りしていた備品・消耗品の購入や施設修繕に充てています。

【参加者】

お祭り、地区レクなど活発な地域ですが、ほとんどの行事が中止になりました。当地域も自治会予算に余裕ができたことは、新たな時代に向けて投資できるチャンスと捉えています。

【参加者】

当地域も行事はほとんど中止しました。感染リスクを考えるとやむを得ないと考えています。会員の中には回覧板や会費集金を嫌がる意見もあります。

【参加者】

当地域ではあるマンション自治会が連合自治会から脱退する動きがあります。連合自治会から市へ推薦・選出する委員を出すことが負担であることが理由であるようで、市の担当部署に相談に行っているようです。市には慎重な対応をお願いしたいです。そもそも加入することが「損か得か」では自治会は成り立ちません。新しい時代での自治会の存在意義、役割、他市における活性化策については担当部署でまとめてもらいたいです。

【参加者】

当地域では年間11行事のうち予定通り開催できたのは1件、中止が5件、縮小が2件でした。今後開催予定の3件は未定です。

【参加者】

当地域も行事はほとんど中止です。活動は自治会便りで情報提供をしている程度です。そろそろ活動を再開しようと考えている最中ですが、自治会活動は非営利活動ですので、感染リスクがある中で活動する必要があるか考えます。役員との交流がもてないことは残念です。

【参加者】

当地域は市街化調整区域ですので新規住宅はできません。小学校も1学年1クラスです。そこで「活動推進会議」というまちづくりの協議会を立ち上げました。詳しい活動については、後ほど紹介したいと思います。

【参加者】

当地域では先日の定例会で本日のテーマについて単位自治会長たちと会合をもちました。当連合自治会を組織する8つの単位自治会のうち、3つが新興住宅、5つは昔からの大字で組織されています。全自治会で共通の課題は、来年度に向けて役員の引継ぎができないということ、コロナに対応した施設利用や活動のガイドラインがなく活動が停滞してしまったこと、また新興住宅地区での課題として、活発だった行事がなくなり地域内での情報共有ができなくなったことが挙げられました。

【司会】

行事を開催するために自治会の中でどのような検討をされましたか。

【参加者】

役員・各活動団体に意見を聞きながらみんなで決めました。

【参加者】

地域の盛り上がりをここで途切れさせてはいけないと、市からの交付金も

活用しながら開催しようと話をしました。

【司会】

自治会の存在意義、役割や非加入問題などに御意見などありますか。

【参加者】

市長に要望です。市内の地区別の発生状況を公表してもらいたいです。

【市長】

平塚保健福祉事務所（保健所）は神奈川県が管轄しています。県から市へ提供される情報は、当初は保健所管内の発生件数のみで、平塚市での発生件数も提供してもらえませんでした。県に強く申し入れ、ようやく4月に市内での発生件数は提供してもらえるようになりましたが、地区別の発生状況は依然として提供されていません。引き続き市長会を通じて強く要望していきます。

【参加者】

どの程度の情報が市に提供されているのですか。

【市長】

判明日、年代、性別、同居人数、感染経路、症状、職業です。

【参加者】

累計人数だけでなく、1,000人に1人などの身近に感じられるような情報発信の仕方も大切ではないかと考えています。

【市長】

コロナ対策では、県から詳細な情報収集を行い、その情報を的確に分析して適切な対策をとり、正しく市民に発信することが重要と考えています。昨日の対策本部会議においても、現在高齢者の患者数が増加傾向でしたので、施設等でクラスターを発生させないように安全対策の徹底を担当部に指示を出しました。

【司会】

自治会の存在意義、役割、役員のなり手不足との話がありました。前回までのほっとミーティングの中でも自治会不要論といった話もありました。この件について意見交換ができればと思います。

【参加者】

自治会活動は負担も大きいです。持病がある方でも活動している方もいますが、中には体調を崩してしまう方がいるほどです。市にも手続等の簡素化をお願いしたいと思います。また自治会が困っているときほど、市からの支援が必要だとの認識に立ち、このコロナ禍をチャンスと捉えて取り組んでいただきたいと思います。

【参加者】

自治会活動は毎年同じ人たちが同じことの繰り返しと感じている住民もいるようです。当地域では自治会不要論を直接耳にすることはありませんが、そう思っている住民もいると思います。

【参加者】

当地域でも不要論まではありませんが、様々な理由から役員をできないという人が増えています。そこで市長にお願いです。市職員には地域活動へ積極的に参加してもらいたいです。またモデル地区のみで実施している戸別収集は早期に全市に展開していただきたいです。

【市長】

市長就任当初、地域活動への積極的参加をお願いした通知を出したことがあります。参加しやすい環境づくりも含めて取り組んでいきたいと思っています。

また戸別収集については、モデル地区での社会実験ではごみの減量化にもつながる結果になりました。対象地区を順次拡大する方向で進めていきます。

その他ごみ問題については、前回までのほっとミーティングでも御指摘をいただいています。再度対策を担当部に指示します。

自治会加入促進のためのチラシは現在も作成、配布していますが、今後は自治会の意義や役割、活動事例の紹介などもまとめて、加入のメリットを感じてもらえるような取組を担当部に指示します。これまで平塚は地域のつながりに支えられて発展してきたまちだと考えています。コロナによってこのつながりが失われてはいけないと思い、緊急・総合対策では地域活動再開円滑化交付金などに思い切って予算も投じてきました。広報ひらつかでは今年様々な地域活動団体の特集し、自治会活動についても紹介しましたが、今後も自治会活動を取り上げるように指示します。

【司会】

自治会の役員の引継ぎができないとの話もありました。何か取り組んでいくことありますか。

【参加者】

行事ができないことが役員引継ぎ問題の原因であると思っています。公民館まつりではガイドラインをしっかりと示していただき、開催する方向で検討できる環境になりました。やはりガイドラインは必要と考えています。また市からの交付金も活用させていただきながら活動を再開させたいと思っていますが、メディアの影響なのか過剰なほど警戒している人もいます。活動を再開しようとみんなが思うためには、先ほどの話に戻りますが、平塚の正しい感染状況がしっかり市から自治会に発信されることが大前提になると感じています。

【司会】

冒頭、活動推進会議での活動をされているとお話がありました。詳しくお話いただきたいと思います。

【参加者】

当地域では活動推進会議を立ち上げ、県の地域の支えあい仕組みづくり事業に応募して採用されて10月から活動を始めました。平塚農商高校、東海大学の若い人からもアイデアをいただきながら、3か年計画で進め、何か商品化などの成果が出せればと考えています。進捗については「ちいき情報局」や公民館だよりなどでお知らせしていきたいと思っています。

【司会】

時間が少なくなってきました。最後に市長にお伝えしたいことなどありましたらお願いします。

【参加者】

自治会館をもたない自治会にとって、公民館が重要な拠点です。公民館活動の充実が地域の活性化につながると思います。

【参加者】

公民館の飲食禁止は時代に合わなくなりつつあると感じています。利用方法は常に見直す必要があると思います。

【参加者】

市への提出書類はパソコンで提出できるようになると便利だと感じています。

6 市長によるまとめ

本日は様々な御意見と御要望をいただきありがとうございました。またコロナ禍においても大変な御苦勞のなか地域活動を支えていただき改めて御礼申し上げます。いただいた御意見等をしっかり受け止め具体的なサポートをしていくことが市の役目であると考えています。特にこれまで自治会への情報発信についてできていない部分があったと感じましたので、対策本部会議でしっかり検討したいと思います。また公共施設の利用方法についてもこれまで24回開催している対策本部会議で、国・県からの示される行動指針や催し物のあり方を、市の実情を踏まえて検討し、公共施設の利用方法や行事の開催方針を定めて皆さんにお願いしています。皆さんの使いやすさを踏まえて利用方法の検討も進めていきます。

情報発信の手段については、小・中学校の児童・生徒に今年度3月までに1人1台タブレット端末を配備することにしました。また、小・中学校の臨時休業中に、各地域の「ちいき情報局」で小・中学校の情報を掲載していただいた

ことで、保護者や子どもたちの情報共有に役立ちました。皆さんにお礼申し上げます。「ちいき情報局」の充実については担当部に指示しているところですが、今後、コロナの発生状況や市の取組状況などを「ちいき情報局」を活用しながら情報共有する仕組みができないか検討します。

最後にどのように活動を踏み出すかがとても重要だと思います。先ほどの話でも出ましたが公民館まつりについて、担当部からガイドラインをお示しさせていただきました。しっかりした安全対策を行った上で開催していただきたいという内容になっています。必要な安全対策には予算も含めた支援もしっかりしていきたいと考えていますので、地域活動の再開に御協力いただければありがたいと考えています。本日はありがとうございました。

以 上